

②個体番号：No.4

処理日から出沒し、10 日間に渡り餌付いていたと思われる（図 4-2、写真 4-14～15）。この個体は、耳票を装着しており一度捕獲され再放獣された個体と思われる。

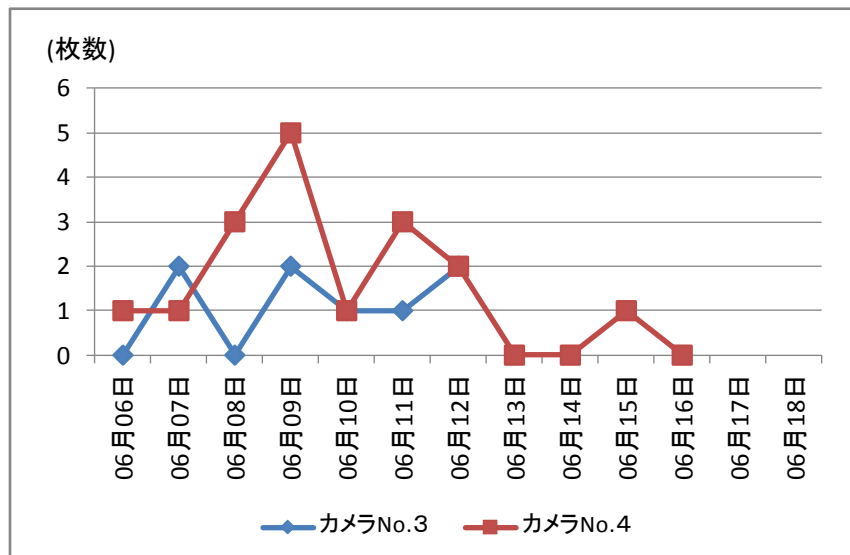


図 4-2 No. 4 個体処理場所におけるツキノワグマの撮影状況



写真 4-13 埋設場所（赤点線内）



写真 4-14 食べている



写真 4-15 耳票個体

③個体番号：No.5

処理日から5日後に一回出沒し食べた。その後は撮影期間中にツキノワグマは出沒していない（図4-3）。

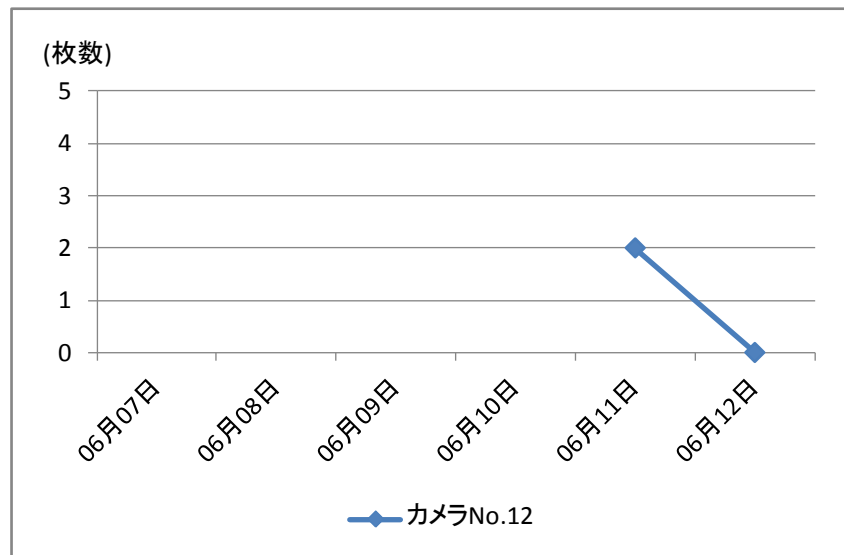


図4-3 No.5 個体処理場所におけるツキノワグマの撮影状況

④個体番号：No.6

処理日から出沒し、5日間食べ続けた（図4-4、写真4-16~18）。出沒した個体は、シカの死体に執着し、写真4-18に示した様に威嚇する行動が撮影された。

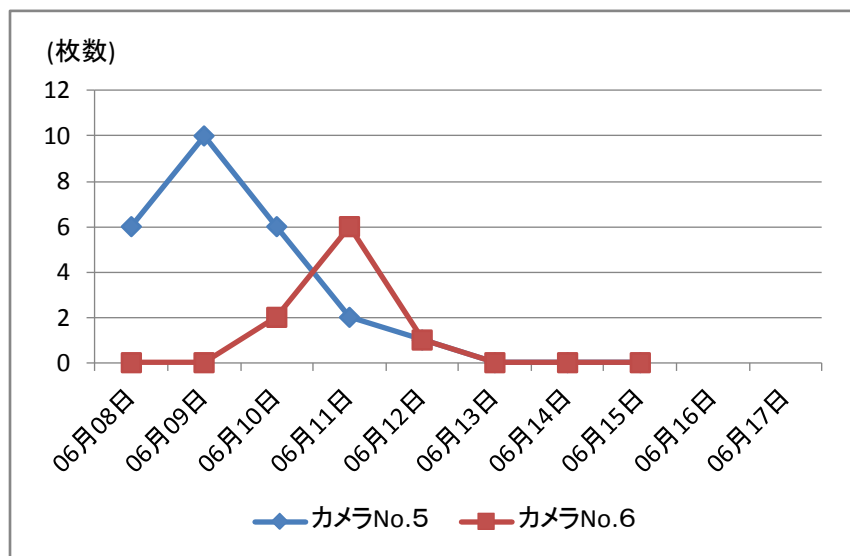


図4-4 No.6 個体処理場所におけるツキノワグマの撮影状況



写真4-16 掘り出している個体



写真4-17 掘り起出し、食べている



写真4-18 威嚇行動

⑤ 個体番号 : No.11

処理日から5日目に出没し、14日目まで食べていた(図4-5、写真4-19)。その後は、数回写真に写るが食べた形跡はなかった。この個体は、解体分散処理を行ったため、多くの部位が食べることが可能であり、その結果長期間ツキノワグマが撮影されたと思われた。しかし、撮影のピークは6月20日と21日の2日間であった。21日を過ぎると撮影枚数は、1~2枚と少なかった。また、解体分散処理を行ったため、1頭まるごとの処理と異なり、小分けで食べやすいのか、テン、ネズミ類、キツネ、カラスが食べに来ていた。

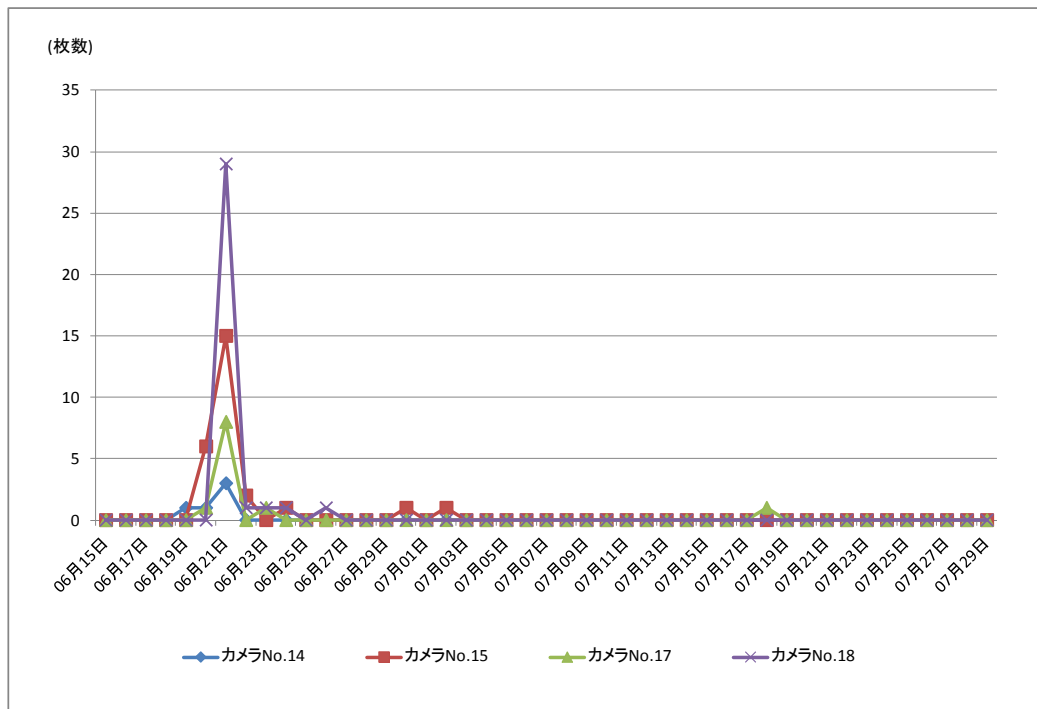


図4-5 No.11 個体処理場所におけるツキノワグマの撮影状況



写真4-19 頭部を食べている

⑥ 個体番号：No.13

処理日の翌日に出没し、掘り出すも食べずに移動した。翌々日にも出没したが、食べずに通過した（図4-6、写真4-20~22）。この処理個体は、クマスプレーを散布したためか、食べられなかった。

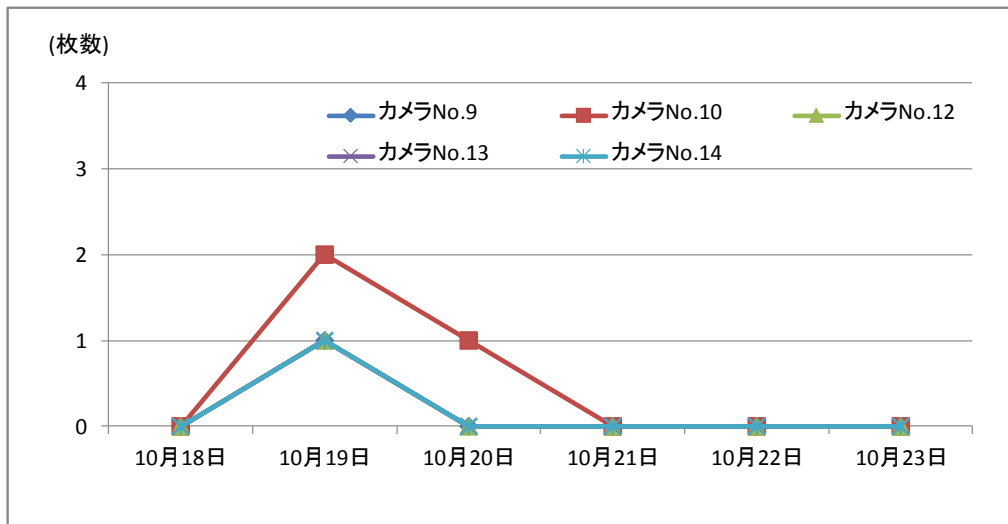


図4-6 No.13 個体処理場所におけるツキノワグマの撮影状況

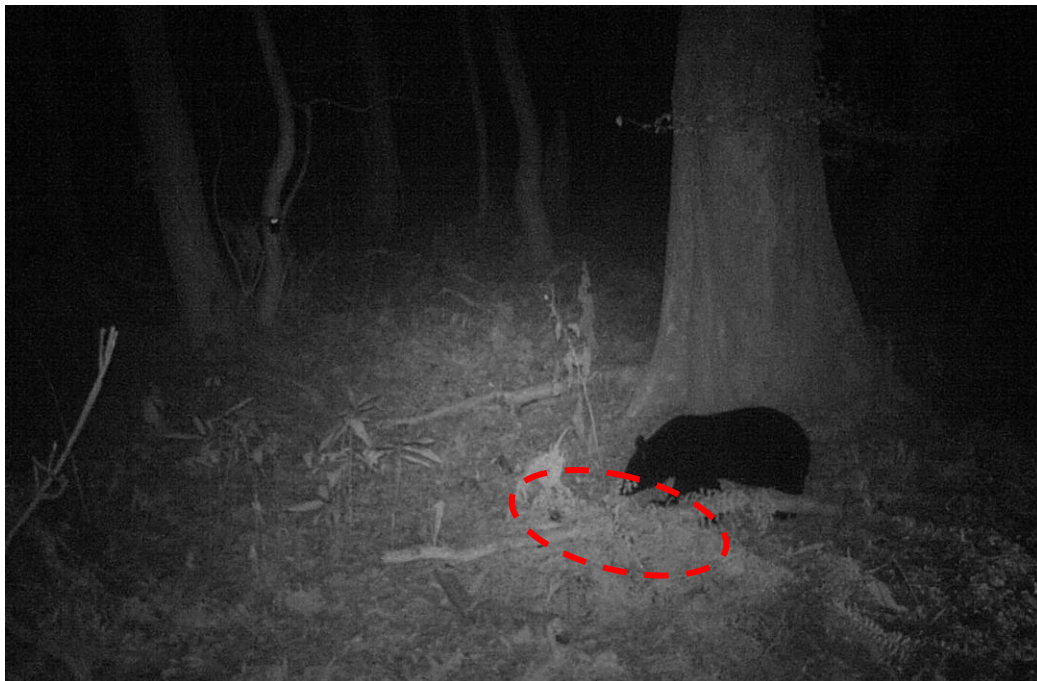


写真4-20 掘り出し中（赤点線に埋設）
（10月19日、20時37分）



写真4-21 クマ移動（食べた形跡なし）
（10月19日、20時50分）



写真4-22 クマ通過（シカに見向きもしない）
（10月20日、05時41分）

第5章 錯誤捕獲の予防対策

本業務の目的は、尾瀬地域周辺に生息するシカの個体数の低減を目的として、捕獲方法を検討し、試行するものである。本業務では、くくりわなと銃器によりニホンジカを捕獲することとなり、過去の捕獲結果からもくくりわなは重要な捕獲ツールであることが分かっている（関東地方環境事務所、2014b、2015b）

しかし、くくりわなは対象となる動物以外にも捕獲してしまう構造である。錯誤捕獲が発生し捕獲個体が傷ついたり、放獣時に作業者が放獣個体に傷つけられたりしている。特に、尾瀬ヶ原国立公園では、ツキノワグマが生息し、ツキノワグマが錯誤捕獲される可能性がある。そこで、ツキノワグマが誤捕獲されなくくりわなの設置方法（誘引設置法）と誤捕獲があってもダメージの少ないくくりわな（ポリエチレン式くくり輪を使用したくくりわな）の試行を行った。

1. 誘引設置法

一般的なくくりわなは、獣道に設置する。しかし、獣道は色々な動物が利用するため誤捕獲が起これると考えられる。

そこで、本業務では、獣道から餌でシカを獣道から離れた地点にわなを設置し、ニホンジカの捕獲を試行した。誘引餌として、ヘイキューブを使用した（図5-1）。ヘイキューブは、ツキノワグマ等の雑食性動物は誘引されないと考えた。

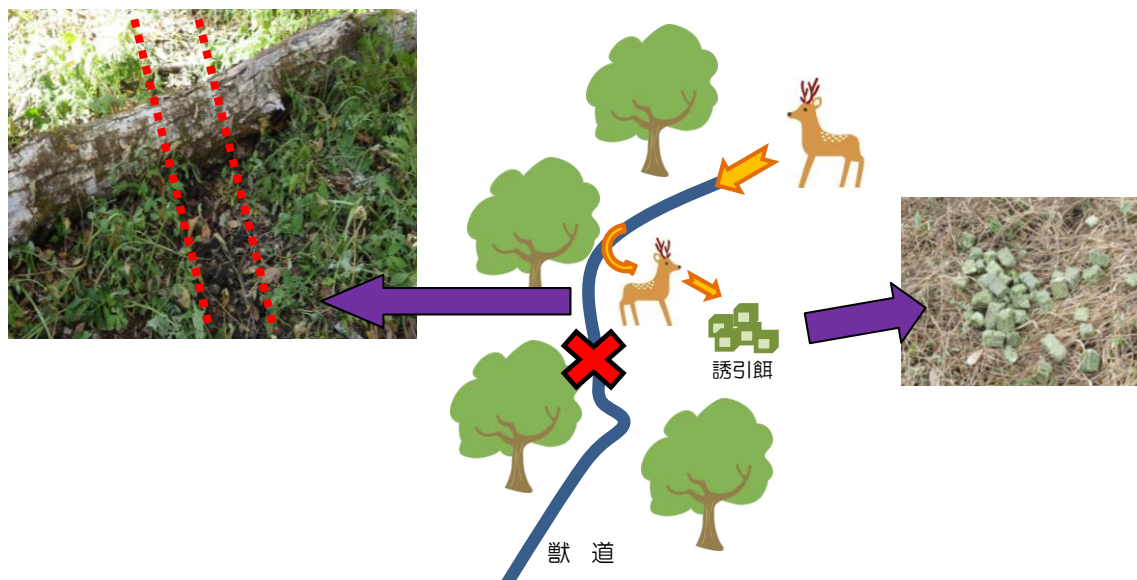


図5-1 誘引捕獲法のイメージ

誘引捕獲法による試行捕獲は、2015年10月16日から23日の8日間、柳平周辺の3ヶ所に設置した。使用したくくりわなは、オリモ式 OM-30 型である（図5-2）。試行期間中にニホンジカは、捕獲できなかった。



図5-2 錯誤捕獲の予防対策実施位置

2. ポリエチレン式くくりわな

一般的なくくりわなは、直径4mmの金属製ワイヤーで、対象動物の足首をくくる構造である。金属ワイヤーでくくられた部位の組織がダメージを受け、放獣後に骨折や腱の損傷、指の切断などの障害を残す可能性がある。また、金属ワイヤーは、耐久性が強く、安易に切れる素材ではなく、錯誤捕獲された個体が自力で脱出するためには、自らを傷つけないといけない。そこで、金属製ワイヤーに代えて、ポリエチレン製ロープ（直径8mm）のくくりわなを試行した（写真5-1～2）。この仕様で、シカの生体捕獲に成功している事例があり、放獣後のダメージも少ないと報告されている（坂庭私信）。さらに、ツキノワグマであればロープやくくり輪部を止めている結束バンドを容易に切断でき、自力で脱出することも可能であると考えた。



写真5-1 ポリエチレン式くくりわな



写真5-2 ポリエチレン式くくりわなの設置状況

ポリエチレン式くくりわなによる試行捕獲は、2015年10月16日から23日の8日間、猫又川上流の2ヶ所に設置した(図5-2)。1ヶ所は3基を放射状に、2ヶ所目は1基を設置し、試行捕獲を行ったが、試行期間中にニホンジカは、捕獲できなかった。

第6章 効果的な捕獲方法の提案

1. 捕獲時期

本業務では6月から捕獲を開始し10月まで実施した結果、6月の捕獲効率が高かった。平成25年度、平成26年度の捕獲実績を見ても6月の捕獲が多い。さらに、湿原植生への影響を軽減するためにも、シカが尾瀬ヶ原に進入し始める春先（可能な限りシカが進入する時期と同じ時期）の捕獲が最も適切な時期と考えられる。また、オスを優先的に捕獲するのであれば、秋の時期に実施することが重要である。

2. 捕獲方法

春期は、くくりわなと銃器（忍び猟・待機射撃）が有効と考えられる。積雪がある時期は銃器で、融雪後はくくりわなと銃器の併用捕獲が効率よいと考えられる。秋期は銃器によるコール猟で、交尾期のオスを優先的に捕獲できる。

一般にシカは、薄明薄暮の時間帯に行動が活発化し、夜間に湿原に出てくることが多い。尾瀬においても山ノ鼻から見晴までの木道からのライトセンサスでは50頭以上のシカが観察されたと報告されている（関東地方環境事務所、2015b）。これらのことから、夜間にシカを捕獲することにより、より効果的な捕獲が実施できる可能性がある。平成26年の鳥獣保護管理法の施行により、今後は指定管理鳥獣捕獲等事業により「夜間銃猟」が可能となった。ただし、日本ではまだ実施された事例がなく、今後夜間銃猟の方法を検討することも重要であろう。

さらに、尾瀬の場合、湿原と林縁部に繁茂する藪が、銃器での捕獲の障害になっている。そこで、暗視装置を用いた捕獲の可能性について検討することも必要である暗視装置は、日中でも、夜間でも使用が可能である。

暗視装置には、僅かな光を数万倍に増幅して「可視光線と近赤外線を見る」VNIRタイプと、「光ではなく熱（遠赤外線）を感知して映像化する」FLIRタイプがある（写真6-1）。

尾瀬においては、下草植生が繁茂し、シカを発見することが困難である。そこで、光学機器を用いて、シカを発見できればシカを捕獲する機会が増すことになる（写真6-2：藪の中にいる人の見え方が暗視装置により異なる）。前述したように銃器での捕獲効率は、シカの見撃頭数と命中率の積で決まるので、捕獲効率が高くなることが考えられる。



写真6-1 サーマルコープ



写真 6 - 2 暗視装置の映像比較

(<https://www.youtube.com/watch?v=rAvnMYqj2c0>)

3. 捕獲個体の処理方法

基本的には搬出処理を行うべきであるが、尾瀬といった場所を考えると、「現地埋設」というのが捕獲作業の効率を考えると最善の方法であろう。今回の事例件数が少ないが、クマスプレーを散布した場合、クマを忌避することができた可能性がある。そこで、解体分散し、クマスプレー散布による処理を試験することを提案する。観光客は木道のみを利用することとなっているが、多少写真撮影のため湿原や林内に入り込むこともある。そこで、捕獲個体を処理する場所は、木道や登山道から離れた場所で、もしツキノワグマが餌付いても観光客に危害を加えない距離をとることが必要である。

ツキノワグマが餌付くことを前提に考えると、場合によっては腐敗を促進させ、早く分解させることも一考かもしれない。その場合は、解体分散し、腐敗を促進させる微生物などの活用が考えられる。

第7章 会議資料の作成および出席

環境省を含む関係行政機関及び研究者・大学教授等の有識者からなる「尾瀬国立公園シカ対策講義会」および「尾瀬国立公園シカ対策アドバイザー会議」において本調査の結果を報告するための会議資料を作成し、平成28年2月25日に開催された会議に出席した。

また、「平成27年度尾瀬国立公園ニホンジカ植生被害対策検討業務」において実施する専門家へのヒアリングに同行し、本業務の調査結果について説明した。

第8章 引用文献

- 関東地方環境事務所. 2014a. 平成 25 年度尾瀬国立公園及び周辺地域におけるニホンジカ移動状況把握調査報告書
- 関東地方環境事務所. 2014b. 平成 25 年度尾瀬国立公園ニホンジカ捕獲手法検討業務報告書
- 環境省 関東地方環境事務所. 2014c. 平成 25 年度尾瀬国立公園ニホンジカ植生被害対策検討業務報告書
- 関東地方環境事務所. 2015a. 平成 26 年度尾瀬国立公園及び周辺地域におけるニホンジカ移動状況把握調査報告書
- 関東地方環境事務所. 2015b. 平成 26 年度尾瀬国立公園ニホンジカ捕獲手法検討業務報告書
- 環境省 関東地方環境事務所. 2015c. 平成 26 年度尾瀬国立公園ニホンジカ植生被害対策検討業務報告書
- American Veterinary Medical Association. 2007. AVMA Guidelines on Euthanasia. Formerly Report of the AVMA Panel on Euthanasia.

摘要

平成 27 年度尾瀬国立公園ニホンジカ捕獲手法検討業務

優れた自然環境が残された国立公園は、多くの野生動物が生息する場所としても重要である。しかしながら、尾瀬国立公園では、近年捕獲圧の低下や生息環境の変化によりニホンジカの分布域が拡大し、踏圧、食圧等により貴重な湿原植生への影響が深刻化している。

環境省では、これまでに尾瀬ヶ原等で捕獲した個体に GPS 首輪を装着して追跡調査を実施し、季節移動経路を把握するとともに、移動経路上での捕獲を実施してきた。しかし、ライトセンサスにより確認されるシカの個体数は減少しておらず、植生被害も深刻化している。

本業務においては、くくりわなを用いたわな猟と、少人数で実施できる銃器による捕獲として忍び猟、コール猟、待機射撃、巻き狩りによる捕獲を検証した。その結果、6月から10月にかけて、くくりわなで8頭（オス4、メス4）、銃器で4頭（オス1、メス3）、その他1頭（オス1）の合計13頭のシカを捕獲した。くくりわなでの捕獲効率は0.0034で、銃器では0.060であった。

捕獲したシカを現地埋設し、その後の経過を追跡するため、埋設した場所の周辺にセンサーカメラを設置等し、ツキノワグマ等の野生動物の誘引状況について把握を行った。その結果、埋設手法によりツキノワグマの餌付く期間が異なることが示唆された。

尾瀬ヶ原のシカの個体数を減少させるためには、尾瀬ヶ原において早春から6月の間にくくりわな及び銃器による捕獲を実施することが有効であると考えられた。

SUMMARY

Report on Effective Capture Techniques for Sika Deer
At Oze National Park
2015

The national Park which consisted of the rich natural biodiversity and the environment is an important habitat for various wild animals. However, at Oze National Park, the habitat size expansion of Sika Deer (*Cervus Nippon*) has been obvious by the effect of lesser hunting pressure and habitat enlargement in recent years. And their trampling and browsing pressure have been damaging the valuable wetland vegetation.

At Ministry of the Environment, habitat researches by installing GPS collar on deer has been conducted to collect the data of their seasonal traveling routes around Ozegahara Marsh. And practical culling on their traveling routes was attempted. However visible number change has not been observed from the result on light-census monitoring and the vegetation damage has been still highly concerned.

On this project, the trapping on using foot snare and wait culling, free-ranging, call-baited and group hunting were conducted to evaluate the efficiency on the typical Ozegahara Marsh ground. In 2015 from June through October the total number of captured deer by foot snare was 8, firearm was 4 and others was 1.

On this project, we evaluated the efficiency of several types of capture methods including group culling, wait culling, culling using deer call, and trapping using foot snares at the typical Ozegahara Marsh ground from June to October in 2015. We captured 13 deer in total. The 8 deer (4 males and 4 females) were captured by foot snares, 4 deer (1 male and 3 female) were captured by firearms and 1 deer was captured by the other. The CPUE (Catch per Unit Effort) of foot snares was 0.0034. On the other hand, the CPUE of firearms was 0.060.

We buried the captured deer in the ground by several ways. We monitored them by using camera traps to see Asiatic black bears (*Ursus thibetanus*) were attracted to the burial-ground or not. We found that several bears were attracted to the ground, however they attracted period to the ground were different by the ways of bury.

In conclusion, conducting the foot snare trapping and firearm culling through early spring to early summer would provide the most dependable effort on deer population control to reduce the vegetation damage at Ozegahara Marsh.

資 料

1. くくりわな設置一覧

(1) 6月

番号	設置日	撤去日	設置地域	備 考
1	2016/06/02	2016/06/06	水源	
2	2016/06/02	2016/06/06	水源	
3	2016/06/02	2016/06/06	水源	
4	2016/06/02	2016/06/06	水源	
5	2016/06/02	2016/06/06	水源	
6	2016/06/02	2016/06/06	水源	
7	2016/06/02	2016/06/06	水源	06/06 に♂捕獲（個体番号 04）
8	2016/06/02	2016/06/06	水源	
9	2016/06/02	2016/06/06	水源	
10	2016/06/02	2016/06/06	水源	
11	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
12	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
13	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
14	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
15	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
16	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
17	2016/06/02	2016/06/05	大堀川	06/05 に♀捕獲（個体番号 03）
18	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
19	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
20	2016/06/02	2016/06/16	大堀川	
21	2016/06/02	2016/06/16	大堀川	
22	2016/06/02	2016/06/16	大堀川	
23	2016/06/02	2016/06/16	大堀川	
24	2016/06/02	2016/06/16	大堀川	
25	2016/06/02	2016/06/16	大堀川	
26	2016/06/02	2016/06/16	大堀川	06/16 に♀捕獲（個体番号 12）
27	2016/06/02	2016/06/11	大堀川	
28	2016/06/02	2016/06/11	大堀川	
29	2016/06/02	2016/06/11	大堀川	
30	2016/06/02	2016/06/11	大堀川	
31	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
32	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	

番号	設置日	撤去日	設置地域	備 考
33	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
34	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
35	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	06/08 に♀捕獲（個体番号 07）
36	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
37	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
38	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
39	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	06/11 に♀捕獲（個体番号 09）
40	2016/06/02	2016/06/18	大堀川	
41	2016/06/04	2016/06/15	猫又川上流	
42	2016/06/04	2016/06/18	猫又川上流	06/15 に同地域内で移設
43	2016/06/04	2016/06/18	猫又川上流	06/15 に同地域内で移設
44	2016/06/04	2016/06/18	猫又川上流	
45	2016/06/04	2016/06/18	猫又川上流	
46	2016/06/04	2016/06/16	猫又川上流	
47	2016/06/04	2016/06/16	猫又川上流	
48	2016/06/04	2016/06/16	猫又川上流	06/08 に♂捕獲（個体番号 06）
49	2016/06/04	2016/06/18	猫又川上流	06/15 に♂捕獲（個体番号 11）
50	2016/06/04	2016/06/18	猫又川上流	
51	2016/06/04	2016/06/18	猫又川上流	
52	2016/06/04	2016/06/18	猫又川上流	
53	2016/06/04	2016/06/18	猫又川上流	
54	2016/06/04	2016/06/18	猫又川上流	
55	2016/06/04	2016/06/18	猫又川上流	
56	2016/06/04	2016/06/18	猫又川上流	
57	2016/06/04	2016/06/18	背中アプリ	
58	2016/06/04	2016/06/18	背中アプリ	
59	2016/06/04	2016/06/18	背中アプリ	
60	2016/06/04	2016/06/18	背中アプリ	
61	2016/06/06	2016/06/18	伝之丞沢	水源より移設（熊の出没のため）
62	2016/06/06	2016/06/18	伝之丞沢	水源より移設（熊の出没のため）
63	2016/06/06	2016/06/18	伝之丞沢	水源より移設（熊の出没のため）
64	2016/06/06	2016/06/18	伝之丞沢	水源より移設（熊の出没のため）
65	2016/06/06	2016/06/18	伝之丞沢	水源より移設（熊の出没のため）
66	2016/06/06	2016/06/18	伝之丞沢	水源より移設（熊の出没のため）
67	2016/06/06	2016/06/13	伝之丞沢	水源より移設（熊の出没のため）

番号	設置日	撤去日	設置地域	備 考
67	2016/06/06	2016/06/18	伝之丞沢	水源より移設（熊の出没のため）
68	2016/06/06	2016/06/18	伝之丞沢	水源より移設（熊の出没のため）
69	2016/06/06	2016/06/18	伝之丞沢	水源より移設（熊の出没のため）
70	2016/06/06	2016/06/18	伝之丞沢	水源より移設（熊の出没のため）
71	2016/06/10	2016/06/16	猫又川上流	
72	2016/06/12	2016/06/18	猫又左岸	大堀川より移設（熊の出没のため）
73	2016/06/12	2016/06/18	猫又左岸	大堀川より移設（熊の出没のため）
74	2016/06/12	2016/06/18	猫又左岸	大堀川より移設（熊の出没のため）
75	2016/06/12	2016/06/18	猫又左岸	大堀川より移設（熊の出没のため）

(2) 9月

番号	設置日	撤去日	設置地域	備 考
1	2016/09/04	2016/09/07	竜宮小屋	
2	2016/09/04	2016/09/07	竜宮小屋	
3	2016/09/04	2016/09/07	竜宮小屋	
4	2016/09/04	2016/09/07	竜宮小屋	
5	2016/09/04	2016/09/07	竜宮小屋	
6	2016/09/04	2016/09/17	セン沢	
7	2016/09/04	2016/09/17	セン沢	
8	2016/09/04	2016/09/17	セン沢	
9	2016/09/04	2016/09/17	セン沢	
10	2016/09/04	2016/09/17	セン沢	
11	2016/09/04	2016/09/11	伝之丞沢とセン沢の間	
12	2016/09/04	2016/09/17	伝之丞沢とセン沢の間	
13	2016/09/04	2016/09/17	伝之丞沢とセン沢の間	
14	2016/09/04	2016/09/17	伝之丞沢とセン沢の間	
15	2016/09/04	2016/09/17	伝之丞沢とセン沢の間	
16	2016/09/04	2016/09/17	伝之丞沢とセン沢の間	
17	2016/09/04	2016/09/17	伝之丞沢とセン沢の間	
18	2016/09/04	2016/09/17	伝之丞沢とセン沢の間	
19	2016/09/04	2016/09/17	伝之丞沢とセン沢の間	
20	2016/09/04	2016/09/17	伝之丞沢とセン沢の間	
21	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
22	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
23	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
24	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
25	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
26	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
27	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
28	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
29	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
30	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
31	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
32	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
33	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	
34	2016/09/04	2016/09/17	ケイズル沢	

番号	設置日	撤去日	設置地域	備 考
35	2016/09/04	2016/09/07	ケイズル沢	
36	2016/09/05	2016/09/17	ケイズル沢	
37	2016/09/05	2016/09/17	ケイズル沢	
38	2016/09/05	2016/09/17	伝之丞沢	
39	2016/09/05	2016/09/17	伝之丞沢	
40	2016/09/05	2016/09/17	伝之丞沢	
41	2016/09/05	2016/09/17	伝之丞沢	
42	2016/09/05	2016/09/17	伝之丞沢	
43	2016/09/05	2016/09/17	猫又川上流	
44	2016/09/05	2016/09/17	猫又川上流	
45	2016/09/05	2016/09/17	猫又川上流	
46	2016/09/05	2016/09/17	猫又川上流	
47	2016/09/05	2016/09/17	猫又川上流	
48	2016/09/06	2016/09/17	猫又川上流	
49	2016/09/06	2016/09/17	猫又川上流	
50	2016/09/06	2016/09/09	猫又川上流	
51	2016/09/06	2016/09/09	猫又川上流	
52	2016/09/06	2016/09/09	猫又川上流	
53	2016/09/06	2016/09/13	猫又川上流	
54	2016/09/06	2016/09/13	猫又川上流	
55	2016/09/07	2016/09/17	大堀川	
56	2016/09/07	2016/09/17	大堀川	
57	2016/09/07	2016/09/17	大堀川	
58	2016/09/07	2016/09/17	大堀川	
59	2016/09/07	2016/09/17	大堀川	
60	2016/09/08	2016/09/17	セン沢	竜宮小屋より移設
61	2016/09/08	2016/09/17	セン沢	竜宮小屋より移設
62	2016/09/08	2016/09/17	セン沢	竜宮小屋より移設
63	2016/09/08	2016/09/17	セン沢	竜宮小屋より移設
64	2016/09/08	2016/09/17	セン沢	竜宮小屋より移設
65	2016/09/08	2016/09/13	猫又川上流	ケイズル沢より移設
66	2016/09/10	2016/09/13	柳平	猫又川上流より移設
67	2016/09/10	2016/09/13	柳平	猫又川上流より移設
68	2016/09/10	2016/09/13	柳平	猫又川上流より移設
69	2016/09/14	2016/09/13	柳平	猫又川上流より移設

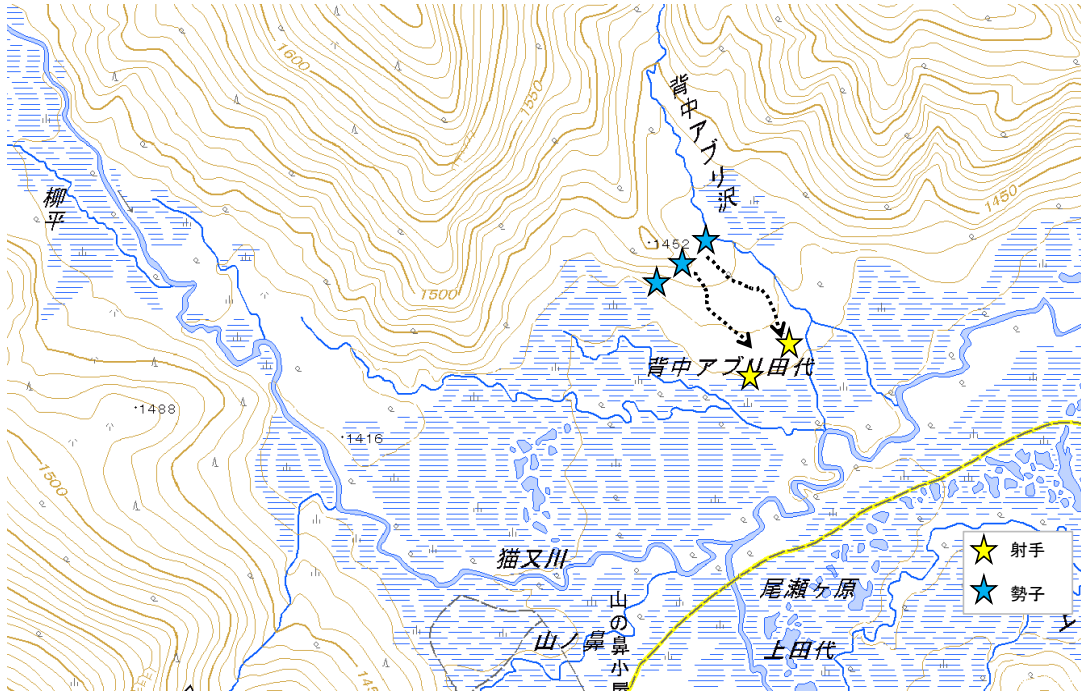
番号	設置日	撤去日	設置地域	備 考
70	2016/09/14	2016/09/13	柳平	猫又川上流より移設
71	2016/09/14	2016/09/13	柳平	猫又川上流より移設

(3)10月

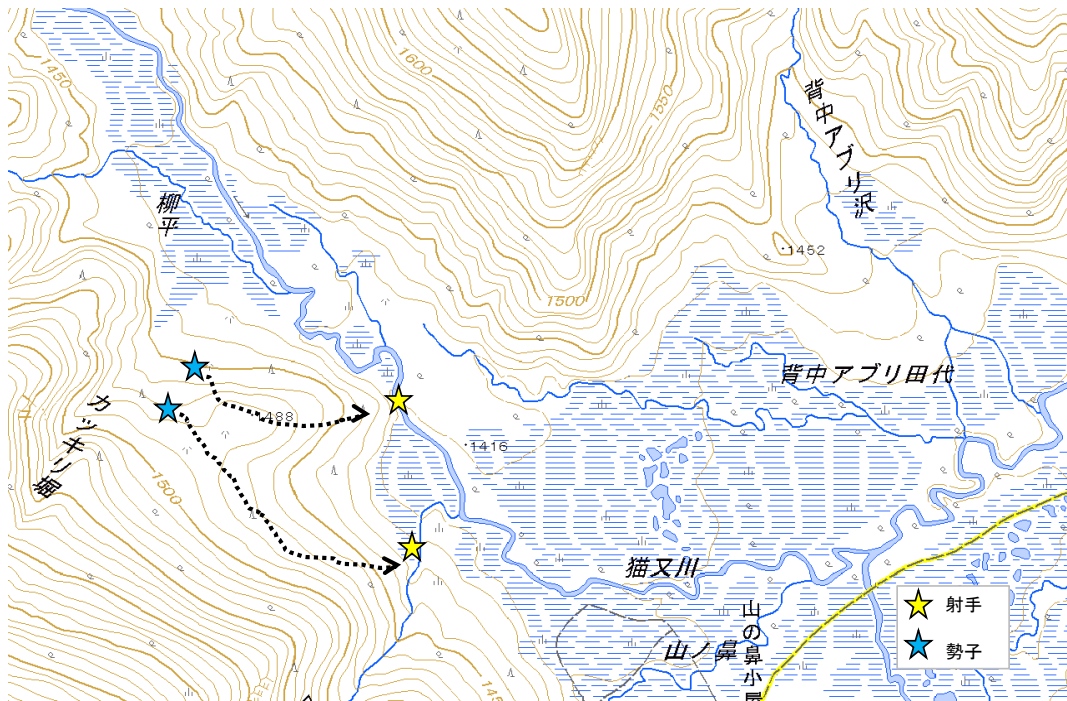
番号	設置日	撤去日	設置地域	備 考
1	2016/10/13	2016/10/23	水源	
2	2016/10/13	2016/10/23	水源	
3	2016/10/13	2016/10/18	大堀川	
4	2016/10/13	2016/10/18	大堀川	
5	2016/10/13	2016/10/18	大堀川	
6	2016/10/13	2016/10/23	大堀川	
7	2016/10/13	2016/10/23	大堀川	
8	2016/10/13	2016/10/23	大堀川	
9	2016/10/13	2016/10/23	大堀川	
10	2016/10/13	2016/10/23	大堀川	
11	2016/10/13	2016/10/23	猫又川上流	
12	2016/10/13	2016/10/23	猫又川上流	
13	2016/10/13	2016/10/23	猫又川上流	
14	2016/10/13	2016/10/23	猫又川上流	
15	2016/10/13	2016/10/23	猫又川上流	
16	2016/10/13	2016/10/23	柳平	
17	2016/10/13	2016/10/23	柳平	
18	2016/10/13	2016/10/23	柳平	
19	2016/10/13	2016/10/23	柳平	
20	2016/10/13	2016/10/23	柳平	
21	2016/10/14	2016/10/23	大堀川	
22	2016/10/14	2016/10/23	大堀川	
23	2016/10/14	2016/10/23	大堀川	
24	2016/10/14	2016/10/23	大堀川	
25	2016/10/14	2016/10/23	大堀川	
26	2016/10/14	2016/10/23	大堀川	
27	2016/10/14	2016/10/23	大堀川	
28	2016/10/14	2016/10/23	大堀川	
29	2016/10/14	2016/10/23	大堀川	
30	2016/10/14	2016/10/19	伝之丞沢	
31	2016/10/14	2016/10/19	伝之丞沢	
32	2016/10/14	2016/10/23	伝之丞沢	
33	2016/10/14	2016/10/23	伝之丞沢とセン沢の間	
34	2016/10/14	2016/10/23	伝之丞沢とセン沢の間	

番号	設置日	撤去日	設置地域	備 考
35	2016/10/14	2016/10/23	伝之丞沢とセン沢の間	
36	2016/10/14	2016/10/23	伝之丞沢とセン沢の間	
37	2016/10/14	2016/10/23	伝之丞沢とセン沢の間	
38	2016/10/14	2016/10/23	伝之丞沢とセン沢の間	
39	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
40	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
41	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
42	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
43	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
44	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
45	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
46	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
47	2016/10/14	2016/10/18	ケイズル沢	10/18 に♂捕獲（個体番号 13）
48	2016/10/14	2016/10/19	ケイズル沢	
49	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
50	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
51	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
52	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
53	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
54	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
55	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
56	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
57	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
58	2016/10/14	2016/10/23	ケイズル沢	
59	2016/10/17	2016/10/23	猫又川上流	大堀川より移設
60	2016/10/19	2016/10/23	伝之丞沢	大堀川より移設
61	2016/10/19	2016/10/23	伝之丞沢	大堀川より移設
62	2016/10/19	2016/10/23	伝之丞沢	大堀川より移設
63	2016/10/20	2016/10/23	伝之丞沢とセン沢の間	伝之丞沢より移設

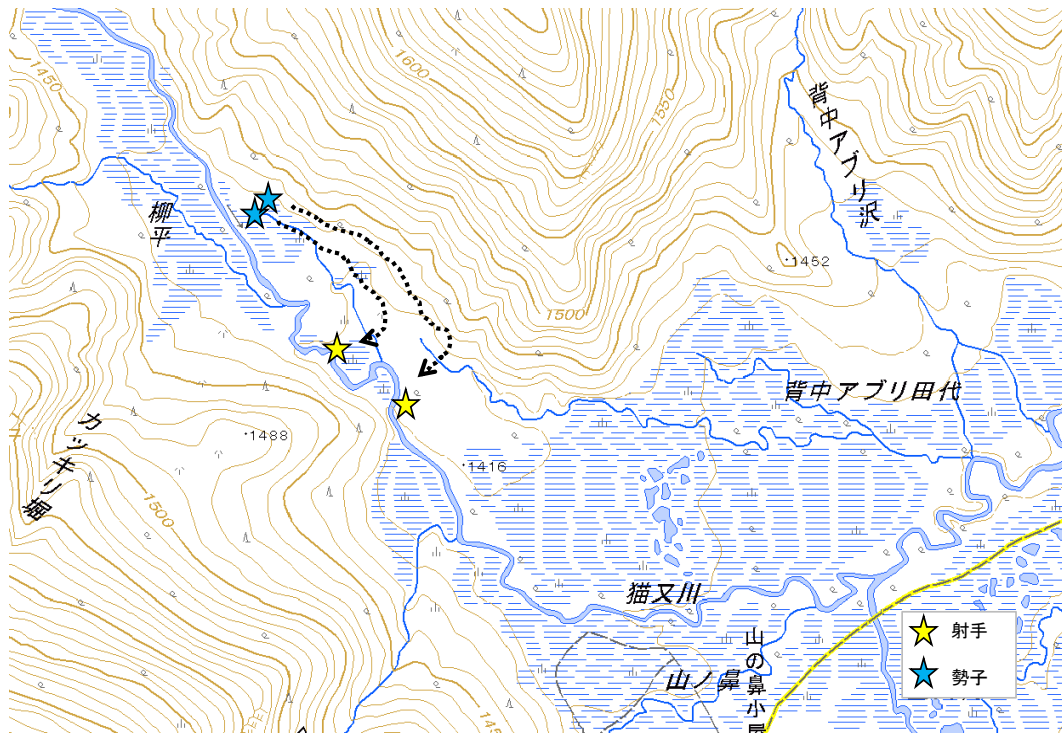
2. 巻き狩りの詳細図



2015年9月8日



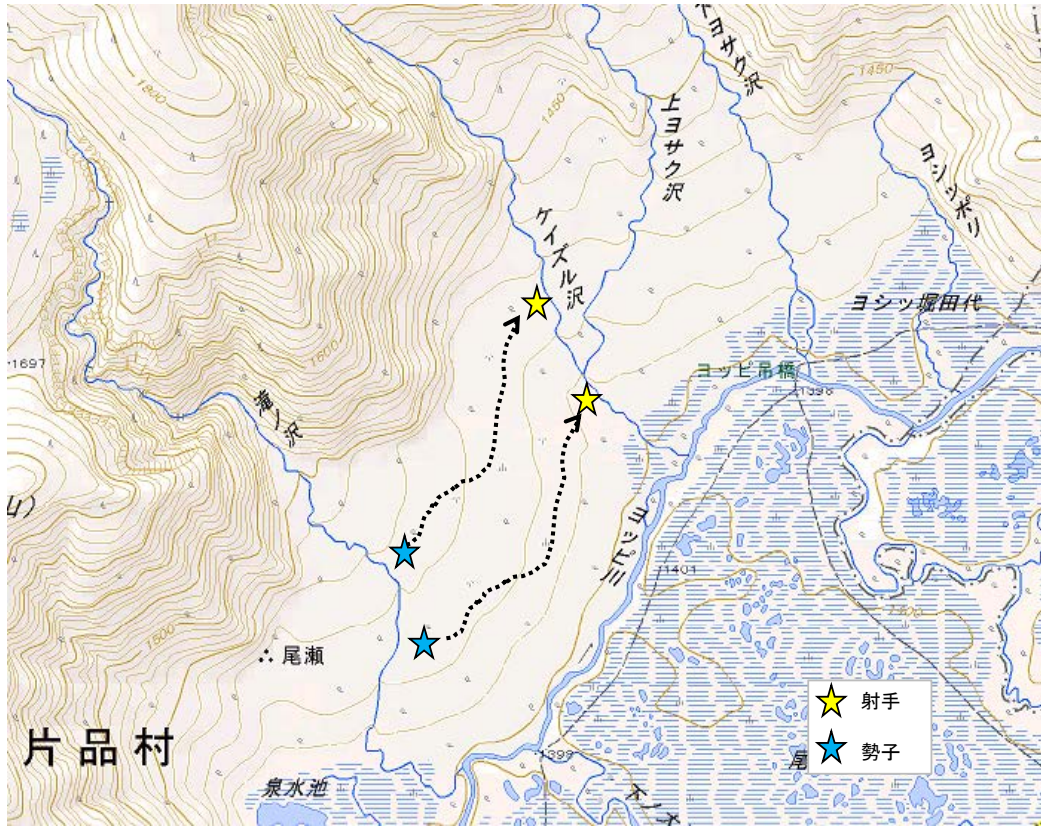
2015年9月14日 (1回目)



2015年9月14日(2回目)




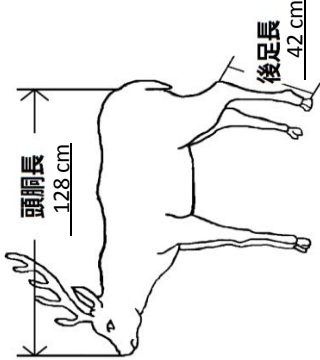
2015年9月14日(3回目)




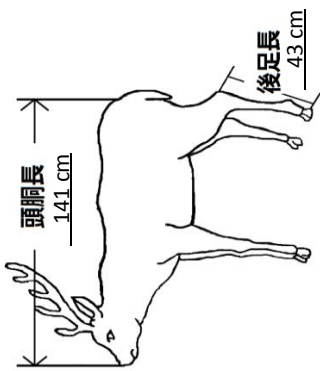
2015年9月15日



3. 捕獲個体記録票

捕獲個体記録表	
捕獲年月日	2015年6月4日
個体No.	2
捕獲方法	銃器・くくりわな・その他()
捕獲個体情報	
性別	オス・ メス
体重	推定 51 kg
推定年齢	2歳以上
捕獲位置	ケイズル沢
妊娠の有無(メス)	有・ 無 ・不明
捕殺	銃殺 ・電殺・死亡
角の状態	なし
角の長さ	1尖 1又2尖 2又3尖 3又4尖 4又5尖
捕獲個体写真	

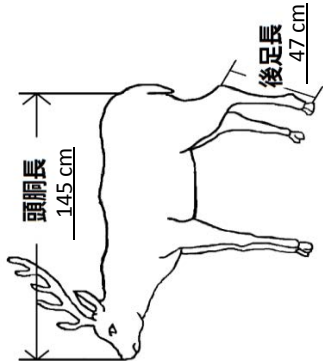




捕獲個体記録表	
捕獲年月日	2015年6月4日
個体No.	1
捕獲方法	銃器・くくりわな・その他()
捕獲個体情報	
性別	オス・ メス
体重	推定 45 kg
推定年齢	2歳以上
捕獲位置	背中アブリ
妊娠の有無(メス)	有・無・ 不明
捕殺	銃殺 ・電殺・死亡
角の状態	なし
角の長さ	1尖 1又2尖 2又3尖 3又4尖 4又5尖
捕獲個体写真	







捕獲個体記録表	
捕獲年月日	2015年6月5日
個体No.	3
捕獲方法	銃器・くくりわな
捕獲個体情報	
性別	オス・メス
体重	推定 60 kg
推定年齢	2歳以上
捕獲位置	大堀川
妊娠の有無(メス)	有・無・不明
捕殺	銃殺・電殺・死亡
角の状態	なし
角の長さ	1尖 1又2尖 2又3尖 3又4尖 4又5尖
捕獲個体写真	 



捕獲個体記録表	
捕獲年月日	2015年6月6日
個体No.	4
捕獲方法	銃器・くくりわな
捕獲個体情報	
性別	オス・メス
体重	推定 72 kg
推定年齢	2歳以上
捕獲位置	水源
妊娠の有無(メス)	有・無・不明
捕殺	銃殺・電殺・死亡
角の状態	なし
角の長さ	1又2尖 2又3尖 3又4尖 4又5尖
捕獲個体写真	





捕獲個体記録表	
捕獲年月日	2015年6月7日
捕獲方法	銃器・くくりわな・その他()
捕獲個体情報	
性別	オス・メス
体重	推定 5 kg
推定年齢	0歳
捕獲位置	猫又川左岸
妊娠の有無(メス) :	有・無・不明
捕殺 :	銃殺・電殺・死亡
角の状態	なし
	1尖
	1又2尖
	2又3尖
	3又4尖
	4又5尖
捕獲個体写真	
 	



捕獲個体記録表	
捕獲年月日	2015年6月8日
捕獲方法	銃器・くくりわな・その他()
捕獲個体情報	
性別	オス・メス
体重	推定 68 kg
推定年齢	2歳以上
捕獲位置	猫又川上流
妊娠の有無(メス) :	有・無・不明
捕殺 :	銃殺・電殺・死亡
角の状態	なし
	1尖
	1又2尖
	2又3尖
	3又4尖
	4又5尖
捕獲個体写真	
 	

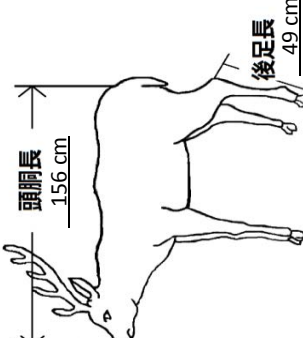


捕獲個体記録表	
捕獲年月日	2015年6月8日
捕獲方法	銃器・くくりわな・その他()
捕獲個体情報	
性別	オス・メス
体重	推定 57 kg
推定年齢	2歳以上
捕獲位置	大堀川
妊娠の有無(メス)	有・無・不明
捕殺	銃殺・電殺・死亡
角の状態	なし
	1尖 1又2尖 2又3尖 3又4尖 4又5尖
捕獲個体写真	 

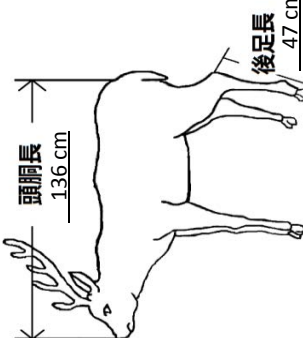


捕獲個体記録表	
捕獲年月日	2015年6月8日
捕獲方法	銃器・くくりわな・その他()
捕獲個体情報	
性別	オス・メス
体重	推定 55 kg
推定年齢	2歳以上
捕獲位置	背中アブリ
妊娠の有無(メス)	有・無・不明
捕殺	銃殺・電殺・死亡
角の状態	なし
	1尖 1又2尖 2又3尖 3又4尖 4又5尖
捕獲個体写真	 

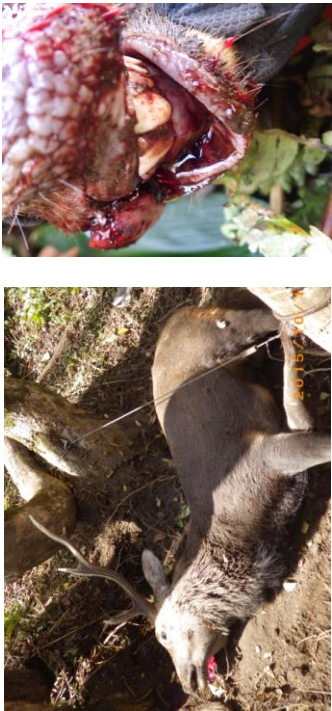
6月8日に半矢で逃走し、捜索をしたが個体を発見できなかったが、6月13日に死体を発見。そのため、哺乳動物により腹部を捕食されていた。

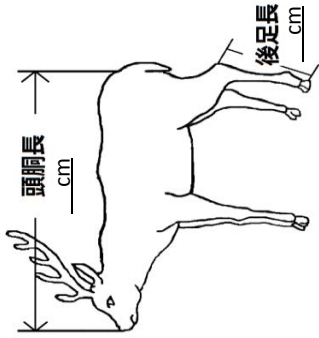
捕獲個体記録表	
捕獲年月日	2015年6月11日
捕獲方法	銃器・くぐりわな・その他()
捕獲個体情報	
性別	オス・メス
体重	推定 47 kg
推定年齢	2歳以上
捕獲位置	大堀川
妊娠の有無(メス)： 有・無・不明	無・不明
捕殺	銃殺・電殺・死亡
角の状態	なし
角の長さ	1尖 1又2尖 2又3尖 3又4尖 4又5尖
捕獲個体写真	 

捕獲個体記録表	
捕獲年月日	2015年6月15日
捕獲方法	銃器・くぐりわな・その他
捕獲個体情報	
性別	オス・メス
体重	推定 10 kg
推定年齢	0歳
捕獲位置	木道分岐
妊娠の有無(メス)： 有・無・不明	無・不明
捕殺	銃殺・電殺・死亡
角の状態	なし
角の長さ	1尖 1又2尖 2又3尖 3又4尖 4又5尖
捕獲個体写真	 

捕獲個体記録表					
捕獲年月日	2015年6月15日				
個体No.	11				
捕獲方法	銃器・くくりわな				
その他	()				
捕獲個体情報					
性別	オス・メス				
体重	推定 80 kg				
推定年齢	2歳以上				
捕獲位置	猫又川上流				
妊娠の有無(メス)	有・無・不明				
捕殺	銃殺・電殺・死亡				
					
角の状態					
なし	1尖	1又2尖	2又3尖	3又4尖	4又5尖
					
捕獲個体写真		捕獲個体写真			

捕獲個体記録表					
捕獲年月日	2015年6月16日				
個体No.	12				
捕獲方法	銃器・くくりわな				
その他	()				
捕獲個体情報					
性別	オス・メス				
体重	推定 67 kg				
推定年齢	2歳以上				
捕獲位置	大堀川				
妊娠の有無(メス)	有・無・不明				
捕殺	銃殺・電殺・死亡				
					
角の状態					
なし	1尖	1又2尖	2又3尖	3又4尖	4又5尖
					
捕獲個体写真		捕獲個体写真			

捕獲個体記録表	
捕獲年月日	2015年10月18日
捕獲方法	銃器・くくりわな
捕獲個体情報	その他 ()
性別	オス・メス
体重	推定 90 kg
推定年齢	2歳以上
捕獲位置	ケイズル沢
妊娠の有無 (メス) :	有・無・不明
捕殺 :	電殺・死亡
銃殺 :	電殺
角の状態	なし
1尖	1又2尖
2又3尖	3又4尖
4又5尖	4又5尖
捕獲個体写真	



平成 27 年度
尾瀬国立公園ニホンジカ捕獲手法検討業務報告書

平成 28 年 3 月

委託者 環境省 関東地方環境事務所
〒330-6018
埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2
明治安田生命さいたま新都心ビル 18 階
TEL 048-600-0516

受託者 一般財団法人自然環境研究センター
〒130-8606
東京都墨田区江東橋 3 丁目 3 番 7 号
TEL 03-6659-5610

リサイクルの適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材[A ランク]のみを用いて作製しています。